

社会保障って、何？

2013. 11. 8

～身近な人から学ぶ健康保険や公的年金の話～

目的：社会保障について理解を深め、自分の生き方や生活に役立てよう。

1. プロローグ (クイズにチャレンジしてみよう！)

Q. 1 公的年金保険料は、何に使われていますか？

- ①自分の老後のために積み立てられる。
- ②今の高齢者の年金になる。

Q. 2 公的年金は、老後に受け取るもので、若い時には受け取れない。

- ① ○
- ② ×

Q. 3 公的年金を受け取っている高齢者は、健康保険の保険料を納付しなくても良い。

- ① ○
- ② ×

2. 社会保障保障制度とは・・・支え合いを社会全体で行う制度のこと

社会保障

- ①公的 () 制度
- ②公的 () 保険制度 (健康保険)

3. 健康保険の事例

健康保険のおかげ

1か月で…

・胃がんの手術 治療費 (③) 万円→自己負担額 (④) 万円 (一般的な例)

* 急な支出を抑えられた

* いつ病気になっても経済的に (⑤)

4. 健康保険の概要

・緊急時に安心して病院で治療を受けることができる制度が (⑥) 保険

* みんなで毎月少しずつお金を出し合って、病気になった人の治療費を払う仕組み

* (⑦) 制度・・・大きな治療費がかかる場合にその負担を軽くする制度

* 誰でも必要な時に必要な (⑧) を受けられる

Q 3 の答え・・・(⑨)

5. 公的年金 (老齢年金) の事例

保険・・・病気や怪我や事故など、困ったことが起きた時のために毎月保険料を納めておいて、いざという時に保険金を受け取る仕組み

・公的年金は、(⑩) である

* あらかじめ、みんなでお金を出し合って社会全体でみんなの生活を支えあう仕組み

* 年金は、保険料を納めた人しか受け取ることができない

* 公的年金は、亡くなるまで受け取ることができる

<年金の仕組みの図>

Q 1 の答え・・・(⑪)

賦課方式の仕組み・・・働いている人たちからお金を集める + 税金 → お年寄り (年金)

* 終身給付と安心

年金保険

*年取った場合・・・(12)) 年金

<若い時になる可能性がある>

*障害者になった場合・・・(13)) 年金

*一家の生計を支えていた人が死亡した場合 (14)) 年金

Q 2 の答え・・・(15))

*年金の加入年齢は (16)) 歳

6. 公的年金の概要

- ・横(同世代間)の支え合い・・・公的年金は、働いている人がお年寄りの生活を支えるとともに、働いている人の負担の偏りを減らすことになった。
- ・年金の保険料を納めることで、親の長生きを一生涯支えるための負担をみんなで分かち合うことができる。

*社会で支える・・・お年寄りを (17)) 全体で支える仕組み

*厚生年金制度・・・所得の高い人が低い人よりも保険料を多く納付している

*健康保険・介護保険・・・年金と同じように所得の低い人にとって有利な仕組み

7. 健康保険・公的年金のまとめ

- ・学生納付特例制度・・・学生を対象とした保険料の支払いを一定期間 (18)) する制度
- ・国民年金保険料免除・納付猶予制度・・・収入が低い人向けに保険料の納付を (19)) したり猶予したりする制度

*手続きをしておけば、万が一自己や病気などで障害を負ったときには、(20)) 年金を受け取ることができる。

*高校卒業後、就職した場合は、健康保険と年金に加入しなければならない

ライフプランについて

*公的年金は、老後の生活資金の全てを賄うものではない・・・貯金や住居を用意することも必要

8. 人生をどのように過ごしていくのか、リスクに備えた自分なりのライフプランを考え、「社会保障と私」をテーマに400字以上で論じなさい。(別紙にて宿題)

9. 自己評価 (授業にしっかりと取り組み、理解できたか A・B・C)

10. 振り返り (考えたこと・感想)

*社会保障制度(健康保険・公的年金)についてどう思うか?